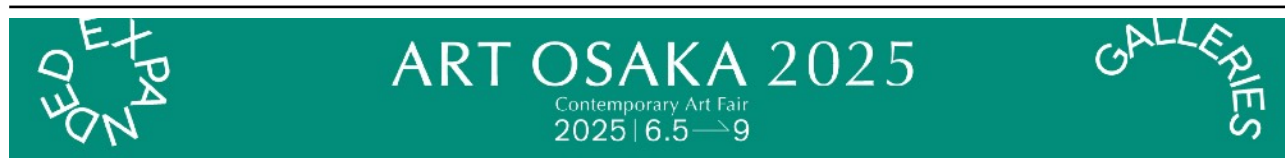


2025年3月18日



中之島・北加賀屋の2会場で開催される、現代美術のアートフェア
「ART OSAKA 2025」に出展する63軒のギャラリーが決定！
中之島会場では新たに「映像プログラム」が開催されます



23回目を迎える現代美術に特化したアートフェア「ART OSAKA 2025」は、2025年6月6日(金)～8日(日)の3日間、中之島・大阪市中央公会堂(国指定重要文化財)、6月5日(木)～9日(月)の5日間、北加賀屋・クリエイティブセンター大阪(名村造船所大阪工場跡地/近代化産業遺産)の計2会場で開催します(主催：一般社団法人日本現代美術振興協会 | APCA)。

個々に出展するブース形式の「Galleries セクション」では、日本国内のみならず、韓国や台湾からの参加も含む**総勢44軒**のギャラリーが一堂に会し展示・販売を行います。

さらに今年は大阪市中央公会堂を全館使用し、大集会室(ホール)では「映像プログラム」を開催いたします。

大型作品やインスタレーションなどをダイナミックに展開する「Expanded セクション」は**19組の国内外作家**が出展し、物理的なサイズだけでなくメディアの垣根を越えた、“アート”のイメージから一歩踏み出した作品群を展示販売いたします。

「ARTOSAKA 2025」の見どころは、大阪を代表する近代建築の壮麗なホールと現代美術作品とのコラボレーション、そして、インダストリアルで広大な空間を活用した、大型作品・インスタレーションなど、空間と共鳴するプレゼンテーションです。今をきらめく若手から、著名な作家までギャラリストの

01. ART OSAKA 2025 チラシ

作品：新平誠洙《Phantom Paint #2》油彩、キャンパス 2025
Courtesy of ARTCOURT Gallery Photo: Takeru Koroda

審美眼による作品のラインナップが一堂に揃い、初めてアートを購入する場としても親しまれています。チケットの販売は、2025年4月25日(金)10:00から開始予定。この機会に是非ご紹介の検討をお願いいたします。

ART OSAKA オンラインチケット(2会場入場可能) 3,500円(税込) *当日券4,000円

※小学生以下は無料です。但し保護者同伴が必要です。

Expanded オンラインチケット 1,500円(税込) *当日券2,000円

※大学生以下は無料です。但し学生証の提示が必要です。

テクノセラピー鑑賞チケット(オンライン販売のみ) 1,000円(税込)

※上限数に達し次第販売終了 ※未就学児以下は、保護者の膝の上に座る場合において無料です。

お問合せ先：一般社団法人日本現代美術振興協会 | APCA

取材・掲載について：小泉 press02@artosaka.jp TEL：090-2385-4557

アートフェアについて：ART OSAKA事務局 担当：川西、鈴木 info@artosaka.jp TEL：06-6777-8303

2025年3月18日

■ART OSAKA 2025の見どころ紹介

ART OSAKAは、ギャラリストの審美眼で選び抜かれた、国際的に活躍する著名作家から今をときめく若手・中堅作家の作品までが一堂に会します。注目作品と見どころポイントをご紹介します。

ポイント1：大阪を代表する近代建築の壮麗な空間と、今を生きる現代美術作品との'響演'（Galleriesセクション）

Galleriesセクション初出展のギャラリーの中から特に注目するのは、AISHO

（東京）とEUKARYOTE（東京）です。AISHOは、近年香港を拠点に活動してきましたが、2024年に代官山に新スペースをオープン。日本の「神仏習合」や国内外の寺院からインスピレーションを得て「架空の古代の人工物」を制作する大阪在住の小池一馬（b.1980）や、大型のキャンバスにねじれた人物が絡み合うさまを鮮やかな色彩で描くハンガリー在住のアコーシュ・エゼル（b.1989）などを紹介します。2018年に神宮前にオープンした

EUKARYOTEは、従来の美術というジャンルを超えた多様な作家を紹介しています。今回は、独特の視覚効果を伴う風景を描き没入感を誘う菊池遼

（b.1991）や、キャンバスに塗り広げた絵の具を剥がすという大胆な手法を取り入れる品川はるな（b.1995）などを取り上げます。

また、関西を拠点に若手作家を紹介し続けているCOHJU（京都）からは、自身の幼少期の記憶や体験、神話を織り交ぜ、不確かでありながらも懐しさを呼び起こす独自の世界観を描く白石効裁（b.1998）や、作家の記憶の中にある民藝のモチーフを引用しながら絵画と工芸の関係性の探る長沢楓（b.1999）など、新進気鋭の作家たちが出展します。

ポイント2：広大な敷地とユニークな会場を活用したサイトスペシフィックな展示：大型作品・インスタレーションやパフォーマンスを体感いただけます（Expandedセクション）

クリエイティブセンター大阪が誇る特徴的なスペースが、1階の「ブラックチェンバー」と4階の「ドラフティングルーム（製図室）」、そして屋外の「赤鉄骨」と、今年新たに加わるライブスペース「スタジオパルティッタ」です。

「ブラックチェンバー」では、世界的に著名な前衛芸術家であるオノ・ヨーコ（b.1933 / 小山登美夫ギャラリー）が1960年代から取り組んできた《Fly》を展示します。作家からのメッセージを持ち帰ることができる観客参加型のインスタレーションです。「ドラフティングルーム」では、身近な紙を用いて有機的な作品を生み出す伊藤航（b.1983 / GALLERY KOGURE）が、名村造船所跡地にインスピレーションを受け、近代産業の象徴である「歯車」と「人」をモチーフにしたインスタレーションを展開します。

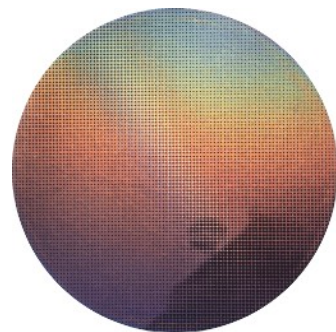
また、高橋穰（b.2000 / Marco Gallery）は、私たちが日常的に翻弄される「不可解な力」を作家自身が知覚するための巨大な彫刻作品を「赤鉄骨」と対峙させます。「赤鉄骨」の奥の「スタジオパルティッタ」では、ライブスペースであることを生かして河合政之（b.1972 / MORI YU GALLERY）が映像インスタレーションを展示します。「ビデオ・フィードバック」システムにより、刻一刻変化する色や形、音を即興的に作り出します。



02. 小池一馬《BC231109》陶器 2024 Courtesy of AISHO



03. アコーシュ・エゼル《Crossroads》油彩、キャンバス 2022 Courtesy of AISHO



04. 菊池遼《void #166》Acrylic and oil on panel 2024 Courtesy of EUKARYOTE



05. 品川はるな《Peel off the paint "No.346"》Acrylic on canvas 2024 Courtesy of EUKARYOTE

高橋と河合はフェア期間中にパフォーマンスも予定しておりますので、ご期待ください。

また、3月末には、ウェブサイトにて、希望の作品のジャンルや予算（5万円～）に適した作品を探すことができるアートワークページを公開予定です。フェアの予習にぜひご活用ください。

すべての作品画像は参考画像です。出展作品と異なる場合があります。



08. オノ・ヨーコ ポートレイト ©Yoko Ono
Photo: Bjarke Orsted



09. 河合政之 《三元素》
ビデオプロジェクター、メディアプレーヤー、ケーブル、サウンドシステム、電球、回転台
2024 Courtesy of MORI YU GALLERY



10. 高橋穰 《装置 #1》 Mixedmedia 2023 Courtesy of Marco Gallery



06. 白石効裁 《晚餐を想起させる静物》油彩、キャンバス
2024 Courtesy of COHJU



07. 長沢楓 《花鳥文》油彩、木版、木枠に綿布 2024
Courtesy of COHJU



11. 伊藤航 《Control》
ケント紙、アクリル樹脂、松、木ネジ、ウレタン塗装 2024
Courtesy of GALLERY KOGURE

ポイント3：映像プログラム Screening Program

本フェアの新企画となる映像プログラムは、以下、2本柱で実施いたします。



12. 萩原朔美《KIRI》16mmフィルム（オリジナル）9分 1972 © Hagiwara Sakumi



13. テクノセラピー Photo by Kazuo Fukunaga

1. 「くうつること」と「見えること」— 映像表現をさぐる: 60年代から現在へ」

梅津元氏のキュレーションにより、1960年代から現在に至る日本の映像表現を約25作品4つのプログラム構成にて紹介いたします。会期中、専門家によるシンポジウムを予定しております。

梅津元（批評家/キュレーター）

1966年神奈川県生まれ。1991年多摩美術大学大学院美術研究科修了。モダニズム以降の芸術の可能性を探るため、美術、写真、映像、音楽に関わる執筆や企画を中心に領域横断的な活動を展開。

詳細 URL：<https://artosaka.jp/2025/jp/screening-program-1/>

2. 「テクノセラピー」特別上映会

本上映会では、1998年、大阪市中央公会堂の大規模な保存・再生工事を翌年に控え開催された、森村泰昌氏プロデュースによる「テクノセラピー」の記録映像を特別上映いたします。

当時、美術家と展覧会制作、舞台演出、会場運営等の専門家集団とボランティアスタッフが結集し、公会堂全館を活用して総合的な美術空間を創り上げた、伝説的なアートプロジェクト。その貴重な映像を、ぜひご覧ください。

また、上映後には森村泰昌氏をお迎えし、スペシャルトークを実施いたします。

詳細 URL：<https://artosaka.jp/2025/jp/screening-program-2/>

本プログラムを通じて、日本における映像表現をさぐるとともに、歴史的な美術の現場の記録映像も併せて上映いたします。重要な映像作品を再評価し、それらをどう未来へ繋げていけるのか、考える機会となることを願っています。追加情報は随時ウェブサイトを更新してまいりますので、ぜひ、ご注目ください。

■出展ギャラリー一覧

・ Galleries セクション

会場：大阪市中央公会堂 3階【国指定重要文化財】

プレスプレビュー：2025年6月6日(金)

一般公開：2025年6月7日(土)～8日(日)

*時間は日によって異なりますので概要欄をご参照ください

大阪市中央公会堂でのブース形式の会場が「Galleries」セクションです。総勢44軒のギャラリーが一堂に会し、ギャラリスト独自の審美眼で選び抜いた作品を展示販売致します。大阪を代表する近代建築の壮麗な空間と、いまを生きる現代美術作品との‘響演’を体感いただけます。



14. 大阪市中央公会堂

出展ギャラリー | 44 軒 地域順表記 *印は初出展

[大阪]

アートコートギャラリー

カペイシャス

ギャラリーノマル

GALLERY ZERO

gekilin.

KAZE ART PLANNING

KOUICHI FINE ARTS

Nii Fine Arts

ノートギャラリー

+1art

TEZUKAYAMA GALLERY

ダブリューエーギャラリー*

YOD Gallery

Yoshiaki Inoue Gallery

Yoshimi Arts

[京都]

CANDYBAR Gallery

COHJU

FINCH ARTS + gallery Unfold*

GALLERY TOMO

小出由紀子事務所

MORI YU GALLERY

[兵庫]

ギャラリーヤマキファインアート

[三重]

ギャラリーMOS

[愛知]

GALLERY IDF

JILL D'ART GALLERY

[東京]

AaP/roidworksgallery

AISHO*

eitoeiko

EUKARYOTE

FUMA Contemporary Tokyo | 文京アート

GALLERY麟

小山登美夫ギャラリー

メグミオギタギャラリー

MEM

西村画廊

Otherwise Gallery

√K Contemporary

s+arts

[神奈川]

gallery蓮依*

[長野]

ギャラリー石榴

[韓国]

GALLERY JINSUN

Gallery Shilla

[台湾]

AKI Gallery

Dynasty Gallery

・ Expandedセクション

会場：クリエイティブセンター大阪（名村造船所大阪工場跡地）

日程：2025年6月5日(木)～9日(月)

*時間は日によって異なりますので概要欄をご参照ください

日本初の試みの大型作品・インスタレーションに特化したExpandedも4年目を迎えます。

本セクションでは、物理的なサイズの大きさだけでなく、メディアの垣根を越え、アートのイメージから一歩踏み出した作品群が並びます。今年は、造船所跡地の広大な敷地の全エリアを使用します。



15. クリエイティブセンター大阪(名村造船所大阪工場跡地)



16. クリエイティブセンター大阪(赤鉄骨・スタジオバルティッタ)

出展作家 & ギャラリー一覧 | 19組

ABC順 *印は初出展

阿部大介 / AIN SOPH DISPATCH

Axl Le / gallerychosun

福岡道雄 / FINCH ARTS

振本聖一 / gekilin.

橋本絵里奈 / ギャラリーMOS

伊藤航 / GALLERY KOGURE

河合政之 / MORI YU GALLERY

リン・シューカイ / Der-Horng Art Gallery

水田典寿、米津真理奈 / 川田画廊

ミュルミュール・ストリート / ギャラリーかわまつ

中村公之 / 万画廊

中村亮一 / KOKI ARTS

那須佐和子 + 下田悠太 / biscuit gallery+ AWASE gallery*

オノ・ヨーコ / 小山登美夫ギャラリー

サシャ・スタイルズ / BEAF

鹿野裕介 / Yu Harada

四方謙一 / H-art Beat Gallery*

高橋穰 / Marco Gallery

ユ・ソラ / TEZUKAYAMA GALLERY

「ART OSAKA 2025」開催概要

日程：2025年6月5日(木)～9日(月) *開場日時は会場によって異なりますのでご注意下さい。

Galleries セクション：ブース形式のフェア

日程：2025年6月6日(金)～8日(日)

一般公開：7日(土) 11:00～19:00

8日(日) 11:00～17:00

6日(金) *招待者、プレスのみ

Expanded セクション：大型作品やインスタレーション等に特化したフェア

日程：2025年6月5日(木)～9日(月)

一般公開：5日(木) 13:00～19:00

6日(金)～8日(日) 11:00～19:00

9日(月) 11:00～17:00

出展ギャラリー：44ギャラリー

会場：大阪市中央公会堂 3階 [中集会室・小集会室・特別室]

〒530-0005 大阪市北区中之島1-1-27

出展作家：19組のアーティスト

会場：クリエイティブセンター大阪(名村造船所大阪工場跡地)

〒559-0011 大阪市住之江区北加賀屋4-1-55

映像プログラム

「〈うつること〉と〈見えること〉

— 映像表現をさぐる：60年代から現在へ」

日程：2025年6月6日(金)～6月8日(日)

入場無料

会場：大阪市中央公会堂 1階 大集会室



17. 大阪市中央公会堂 大集会室

「テクノセラピー」特別上映会

A テクノセラピー スペシャルナイト 森村泰昌+多田正美 (1998年、66分)

6月6日(金) 18:30 -

B The Image of Techno Therapy (1999年、60分)

6月7日(土) 18:45 - ●上映後：森村泰昌スペシャルトーク 20:00 - 21:00

有料

会場：大阪市中央公会堂 1階 大集会室

公式ウェブサイト：<https://www.artosaka.jp/2025/jp/>

主催：一般社団法人日本現代美術振興協会 | APCA

■チケット情報

2025年4月25日(金) 10:00～ 販売開始！

ART OSAKAオンラインチケット (2会場入場可能) 3,500円(税込) *当日券4,000円

※小学生以下は無料です。但し保護者同伴が必要です。

Expandedオンラインチケット 1,500円(税込) *当日券2,000円

※大学生以下は無料です。但し学生証の提示が必要です。

テクノセラピー鑑賞チケット (オンライン販売のみ) 1,000円(税込)

※上限数に達し次第販売終了 ※当日券の、窓口での販売はございません。

※未就学児以下は、保護者の膝の上に座る場合において無料です。

※「〈うつること〉と〈見えること〉— 映像表現をさぐる：60年代から現在へ」は入場無料です。

■ 広報用画像について

広報用画像として1~17のイメージ画像、及びフェアのロゴをご用意しています。

必要な方は、下記お問い合わせ先までお気軽にご連絡ください。

使用の際はキャプションの明記にご協力をお願いいたします。

また、掲載が決まりましたら、掲載紙やPDF データを1 部事務局までお送りいただくか、

又は、掲載先URLをお知らせ下さい。

なお、最新情報は随時公式ウェブサイト、SNSにて配信いたします。合わせてご覧ください。

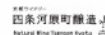
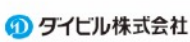
公式ウェブサイト：www.artosaka.jp/2025/jp/

facebook：www.facebook.com/artosaka.jp、X(旧twitter)：twitter.com/art_osaka、instagram：www.instagram.com/artosaka.jp/

[特別協賛]



[協賛]



三菱地所株式会社、サントリーホールディングス株式会社、三菱UFJフィナンシャル・グループ、株式会社りそな銀行、株式会社みずほ銀行、株式会社紀陽銀行、東海商運株式会社、医療法人労働会 ウエハン歯科医院、株式会社ウェアハウス、株式会社宮本工業所、株式会社ステージ、UEK株式会社、清水建設株式会社、株式会社竹中工務店、ナルベイン画材株式会社 [協力] クリエイティブアイランド中之島実行委員会、平成コミュニティバス株式会社、株式会社Luup、ホテル京阪、リーガロイヤルホテル、リーガブレイス肥後橋 [後援] 大阪市教育委員会、公益財団法人大阪観光局、一般社団法人関西経済同友会、ゲート・インスティテュート・ヴィラ鴨川、大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館、駐大阪韓国文化院、台北駐日経済文化代表処台湾文化センター、在大阪・神戸米国籍領事館 [パートナー] DELTA, ONE ART Taipei, Osaka Art & Design 2025

お問合せ先：一般社団法人日本現代美術振興協会 | APCA

取材・掲載について：小泉 press02@artosaka.jp TEL：090-2385-4557

アートフェアについて：ART OSAKA事務局 担当：川西、鈴木 info@artosaka.jp

〒540-0012 大阪市中央区谷町5丁目6-7 中川ビル3B TEL：06-6777-8303